



国際理解教育特区の目標

「21世紀の国際社会に貢献できる心身ともに豊かで、知性あふれ、個性に満ちた児童生徒の育成を図る」ことを目標にし、「我が国の伝統文化の理解」と「外国文化の理解」への取り組みを行います。

具体的な取り組み内容

- 市の伝統・食文化に親しみ、市民としての誇りを持たせる教育
- 国際社会に貢献できるように将来外国語が話せる市民を目指した外国語教育
- シンガポール、中国での海外研修の実施



区分	第1学年	第2学年	第3学年
国語	140	105	105
社会	105	105	85
数学	105	105	105
理科	105	105	80
音楽	45	35	35
美術	45	35	35
保健体育	90	90	90
技術家庭	70	70	35
外国語	105	105	105
英会話	35	35	35
道徳	35	35	35
特別活動	35	35	35
選択教科など	30	85	165
総合的な学習	35	35	35
総授業数	980	980	980

区分	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
国語	272	280	235	235	180	175
社会	—	—	70	85	90	100
算数	114	155	150	150	150	150
理科	—	—	70	90	95	95
生活	102	102	—	—	—	—
音楽	68	70	60	60	50	50
図画工作	68	70	60	69	50	50
家庭	—	—	—	—	60	55
体育	90	90	90	90	90	90
英会話	35	35	50	50	50	50
道徳	34	35	35	35	35	35
特別活動	34	35	35	35	35	35
総合的な学習	—	—	55	55	60	60
総授業数	817	872	910	954	945	945

「英会話科」学習内容と学習時間

学年	学習段階	学習内容	学習時間 ※()は指導者
小1・2	第1段階(楽しむ)	あいさつの仕方、身近な物の英語、英語のリズム遊び	25分×週1回(英会話講師と担任) 20分×1回(担任)
小3・4	第2段階(慣れる)	第1段階に加え、自己紹介、友達紹介、外国の文化や暮らし	45分×週1回(英会話講師) 20分×1回(担任)
小5・6	第3段階(親しむ)	第1段階に加え、自己紹介、友達紹介、外国の文化や暮らし、家族紹介、学校紹介、買い物、電話、アルファベットの発音、外国の習慣や考え	45分×週1回(英会話講師) 20分×1回(担任)
中1	第4段階(使う)	自己紹介、友達紹介、買い物、電話、食事、道案内Ⅰ、言語の働きⅠ(意見を言う、発表する、質問する、礼を言う、謝る、招待するなど)	50分×週1回(英会話講師)
中2	第5段階(使う)	家族紹介、学校紹介、買い物、電話、食事、道案内Ⅱ、言語の働きⅡ(報告する、依頼する、申し出る、ほめる、確認する、約束するなど)	
中3	第6段階(使う)	買い物、電話、食事、道案内Ⅲ、年中行事や地域の行事など自国文化の紹介、言語の働きⅢ(説明する、描写する、苦情を言う、賛成する、反対する、承諾する、断るなど)	

具体的な教育内容は？
○市独自の教育課程の編成
市独自の教育課程を組んでいきます。
○新設の英会話科ではどんな学習を？
義務教育9年間を見通した英

会話科の目標を次のように定めています。
小学校では、「英語を使った活動や英語文化の学習を通して、英語や英語文化への興味・関心を高めるとともに、英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する」
中学校では「外国語を通じて、

言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くことや話すことの基礎を養う」としています。

本年度
宇城市学校教育取り組みの方向
下記のとおり、「国際理解教育特区」に関する努力事項を一つの柱としてあげています。

平成19年度宇城市学校教育取り組みの方向

人間尊重の精神を基底におき、校長を中心とした指導体制を確立し、学校施設、教職員の資質などの教育環境の充実を図り、21世紀の国際社会に貢献できる心身共に豊かで、知性あふれ、個性に満ち、国際感覚をそなえた「強くて優しい」児童生徒の育成を目指す。

(重点努力事項)

(1) 学力充実

- ①国際理解教育をひとつの柱として、将来外国語が話せる宇城市民の育成を目指した「英会話科」などの授業の充実
- ②自ら学び自ら考える力を育成するため、徹底指導と能動型学習とのめりはりをつけた授業展開の工夫
- ③指導と評価の一体化を図り、個に応じた学習活動の展開
- ④教師と児童生徒、児童生徒同士のふれあいによるコミュニケーション能力の育成

(2) 豊かな心身の醸成

- ①豊かな人権感覚と実践力を身につけさせる人権学習の充実

②体験的な学習による生命や環境に優しい心情の育成

- ③伝統・食文化体験活動を生かした道徳教育の推進と郷土を愛する心の育成
- ④児童生徒理解の徹底と心の居場所となる学級作りの工夫
- ⑤健康で安全な生活習慣の育成と体力の向上

(3) 教育環境の充実

- ①安心・安全を考えた指導と学校施設の充実
- ②教材備品などの効果的な活用
- ③学校環境の中心である教職員の資質の向上
- ④教職員の指導力の向上を図るための校内研修などの充実

「国際理解教育特区」、「2学期制」、「宇城市が独自に進めている教育政策について途中経過をご紹介します。」

教育、それは未来の宇城市民へのバトンタッチ